

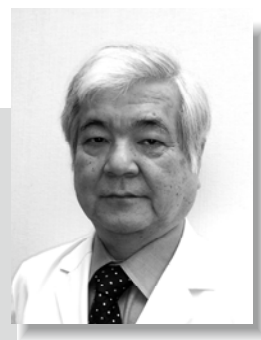
朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.21 平成19年9月20日発行（通巻第21号）

Vol.21

「ごあいさつ」

朝倉介護保険事業者協議会
副会長 火野坂 徹



今年の夏は、激しく照りつける太陽との距離がすこし縮まったのではないかと疑いたくなるような、大変暑い日が続き、介護を提供する人も、サービスを受ける人にとってもつらい季節でした。

介護保険制度が施行され、早いもので7年以上が過ぎてしまいました。当初、全くの手探り状態であった制度が、幾度かの改定を経て、制度開始時には、とても信じられないくらい、世の中にずっしりと定着した感があります。この介護保険の良し悪しは別として、制度がある以上、この制度を上手に活用していくより他にありません。

朝倉介護保険事業者協議会は、平成12年8月介護保険制度開始とほぼ同じ時期に設立されました。朝倉地区は、介護保険制度が始まる1年前からモデル事業を行っており、他地区より常に1歩先を進んできました。私どもの協議会も、そのような流れの中で、介護事業に従事する人々が事業所間の連携が深められるように、また、利用者が

より適切な事業所を利用できるようにとの目的で、行政主導のもとに、組織されました。開設が早かったため、他地域での設立モデルとなり、問い合わせや資料送付希望など多くありました。設立準備会のメンバーは、行政と保険所及び各事業所の代表11名で構成されていました。毎月1回定例会議が行われ、運営方針や組織、規約などの準備を行いました。協議会結成時、準備会メンバー以外の事業所代表も会議に参加していただく全事業所の代表を招集したため拡大会議と呼ばれていました。これが今行われている12専門部会拡大会議の由来です。気がつくと、当時のメンバーは、すべてが入れ替わり、私以外誰も残っていません。しかし、その設立趣旨は、現在メンバーに着実に受け継がれ、協議会の運営に脈々と生き付いています。

今後もこの協議会が、ますます発展し、地域に役立つ組織として活動できるよう各介護事業所及び会員皆様のご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://www.asakura.in>

朝倉介護

検索

事業報告 I

平成19年度第1回スタッフセミナー



■ 講師 緒方有為子(ういこ)氏

【プロフィール】

元戸畑区基幹型在宅介護支援センター管理者
前北九州市戸畑区統括支援センター主任ケアマネジャー



■ 講演会に先立ち今村会長より挨拶。



■ 開会時より会場は満席となり、急遽ロビーの席を追加するほどの参加がありました。

■ 去る5月23日朝倉市役所別館2階会議室に於いて、第1回スタッフセミナー「北九州市における高齢者虐待防止システムと事例の対応について」が開催されました。



■ 参加された会員は皆さん真剣に受講されました。



■ パワーポイントを使って詳細なデータを提示されました。この資料はホームページにも掲載しています。

事業報告 II

平成19年度第2回スタッフセミナー



■ 講師 高田靖子氏
【プロフィール】
百花会上野公園病院(大分) 病棟師長



■ 火野坂副会長・講師の高田靖子氏・多田副会長



■ セミナーの司会進行は、きらく荘の眞崎彩子氏さんでした。

■ 去る7月25日旧ピーポート甘木中ホールに於いて、第2回スタッフセミナー「認知症老人介護と家族に対するケアについて」が開催されました。



■ 受付時刻より多数の会員の皆さんが来場。



■ セミナーには約400名の参加がありました。

事業報告Ⅲ 第1回・第2回スタッフセミナー参加者アンケート結果

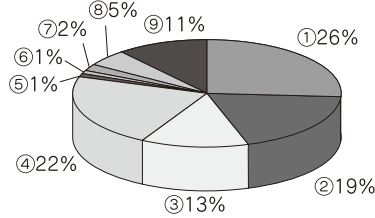
平成19年 第1回スタッフセミナー参加者

2007/5/23(水) 朝倉市役所別館2階

参加者数

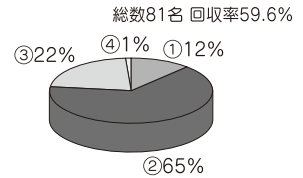
一 般		
① ケアマネジャー	34	
② 看護師	26	
③ ヘルパー	18	
④ 介護職	30	
⑤ 理学療法士	2	
⑥ 作業療法士	1	
⑦ 福祉用具専門員	3	
⑧ 地域包括支援センター	7	
⑨ その他	15	
合 計	136	

北九州市における高齢者虐待防止システムと事例の対応について



アンケート集計結果

① 非常に良かった	10
② 良かった	52
③ 普通	18
④ 良くなかった	1



① 講義内容について

行政が中心にシステム化されているのは非常に画期的事例を挙げての説明で解りやすかった
講義の内容が解りやすく聞きやすかった
地域や行政との連携を強めていかなければ虐待や孤独死を防ぎきることは難しいと感じた
朝倉市でもこのようなシステムがあったらいいと思った
虐待の実態を知ることができてよかった
時間があればもっと事例を聞きたかった
虐待の発見とその後のネットワークがよく解った
何となくダラダラ終わったような気がする
行政との連携、地域包括センターの役割がとても大きいと思う
地域包括センターと統括支援センターの役割がよく解った
三層構造がシステム化され、支援体制が整っているのが素晴らしい
虐待を虐待として見極めるために客観視する大切さを知った
介護負担・経済状況など考えさせられた

② 内容・在り方

仕事をしているとその場だけの解決になるのでいろいろな方面の話を知りたい
成年後見制度を勉強したい
テーマ・内容によって会場を決めるのは大変だと思います
講師の方のイスマももっといいのにできないか。2時間立ったままの講義は大変だと思う
回数をもっとふやして欲しい
介護保険のしくみ・変化を詳しく知りたい
認知症高齢者の声かけや対応のしかた
事例検討会をして問題点をあげたセミナーの方がわかりやすい
介護現場の人員不足の解決方法や労働条件の改善についてもっとケアマネ・介護スタッフ・社協・行政が連携するためには医師との連携が必要
ヘルパー全員が聞けるようなセミナーを開催して欲しい
いろいろな地域の情報や方法論を知りたい

③ 協議会への要望等

老人ホームでの虐待も聞きたい
介護する側のストレスへの対応について知りたい
医療面での講義があるといい。例えば脳梗塞や高次機能障害など一つの疾病をとりあげた研修をして欲しい
今後も事例を使つてのセミナーを
今日のような内容は次回からも聞きたい
冷房がききすぎて寒かった。室温調整をして欲しい
本日はお疲れ様でした
クーラーがききすぎて寒かったです
いろいろなテーマでのセミナーをお願いします
各施設の新設・増設が把握できるような資料の作成・提供
医学的な内容のものを行って欲しい
行政を動かす刺激を与えて欲しい
話やスライドが早すぎて書き込みがすずて中途半端になった
もっと事業所から参加できるように制限について考えて欲しい

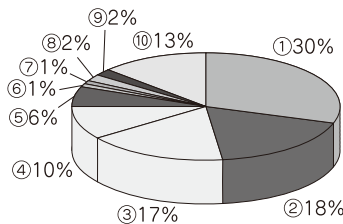
平成19年 第2回スタッフセミナー参加者

2007/7/25(水) ピーポート甘木中ホール

参加者数

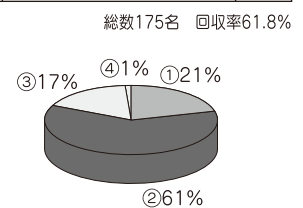
一 般		
① 介護職	86	
② ケアマネジャー	51	
③ 看護師	47	
④ ヘルパー	27	
⑤ 施設長・管理者	16	
⑥ 理学療法士	3	
⑦ 作業療法士	4	
⑧ 福祉用具専門員	6	
⑨ 地域包括支援センター	6	
⑩ その他	37	
合 計	283	

認知症老人介護と家族に対するケアについて



アンケート集計結果

① 非常に良かった	37
② 良かった	107
③ 普通	29
④ 良くなかった	2



① 講義内容について

現状で起こっていることが話されて自分たちの施設の介護のやり方と比較できた
ケアの根本的なものを持って上からの目線でなく介護に従っていかねばと改めて思いました
“仕事”という慣れの中で見失いそうになる大事なことを思い出させていただいた感じです
改めて利用者の「今」を大切にしたいと思った。1日1日その方にあったサービスを提供し、その人らしさを引き出してあげたいと思います
何度か聞いたことはあるがなかなか実際は活かせない。今後いかしてきたい
話し口調がおだやかで落ち着いて聞くことができた
人間性はまさに幼児教育から大切と重要性を感じ、共有したいと思いました
認知症の介護をもう一度考えながら対応していこうと思います
メンタルケアの10カ条を思い出しました。ほめる重要性を再認識した
人の気持ちのいい付き合いを長く出来るようにほめる上手になろう。メンタルケアの10カ条は全員に必要

② 内容・在り方

「言葉にしなくても気持ちは伝わってしまう」というのが印象深かった。ケアをさせていただいているという心を忘れずに日々接していきたい
短時間なのに関係のない話が多く、内容が非常にうすかった
例題を取り入れた話でわかりやすかった
毎日の仕事に振り回されることが多いので常に研修に参加して初心に戻り、基本に戻ることが必要だと思う
行政機関とのシンポジウム方式で現場の状況と行政の考えとの違いを把握できたらと思います
質の高い介護ができるような内容を楽しみにしている
パーキンソン病の話を知りたい
施設では時間ごとに動かざるを得ない状況。その中でどう動いたらいいかを具体的に知りたい。流れ作業が悪いのは理解できるがどうしても一人違う行動はできない
福祉関係者以外の一般の方に参加してもらいたい
事例を出したり質問形式で行うと時間は使うが現場の悩みが見えてくる
今までどおり定期的にセミナーを開いていただけたらと思います

③ 協議会への要望等

認知症高齢者の混乱時の対応やケアマネジメントについての対策などのセミナーをお願いします
今後もいろんな分野の講演をお願いします
高齢者は多くの疾病をお持ちの方が多くこのこれに対するケアの方法・考え方を教えていただきたい
介護職員にもケアして欲しいという思いがあることを理解して欲しい。認知症と付き合うのは精神的にとってもきつい。現場を見て欲しい
2~3ヶ月ごとに開催できれば参加したい。又他の施設の方々やテーマに沿ったグループワーク等もやって欲しい。リスクマネジメントについて
今日のご苦勞様でした
大変な準備とは思いますが今後ともよろしくお願いします
セミナーを通して何を学んで欲しいのか解らない時がある。数でなく内容を充実して欲しい
年間事業計画の一覧があればHPなどで掲載して欲しい
受付が混雑しないように工夫して欲しい
スタッフセミナーは3ヶ月に1回ぐらいがいいと思います
甘木だけでなく、朝倉・杷木での開催が可能であればお願いします

朝倉介護保険事業者協議会ホームページ

ホームページに掲載しているデータについて

朝倉介護保険事業者協議会のホームページは既に昨年よりリニューアルして公開中ですが、より会員の皆様に利用していただけるように更新しています。トップページでは最新のお知らせなどを掲載していますが「ダウンロードページ」では特に会員の皆さんにお役に立つデータを充実させていますので是非ご活用下さい。中原研修部長が足で集めてこられた、ケアマネージャー必修ファイルがアップされています。下記は直近にアップされた一部です。

- 朝倉支部平成19年5月修正 福岡県広域連合住宅改修様式集
- 朝倉支部平成19年5月修正 福岡県広域連合福祉用具様式集
- 平成19年6月改正 朝倉市住宅改修書式
- 朝倉市介護保険平成19年4月作成 訪問介護利用による院内介助チェックリスト
- 平成19年3月改正 広域連合介護保険認定申請書
- 平成18年7月改正 福岡県介護保険広域連合居宅サービス計画作成依頼(変更)届出書
各様式・書式の他にも電子版広報もダウンロード可能です。

また、「研修関連ページ」では、過去に開催された研修で講師が使用されたパワーポイントなどのファイルもアップされています。実際に研修に参加されたスタッフが講師役となって、各事業所でのスタッフ研修やミーティングなどに活用されてはいかがでしょうか。

広報部会ではより使いやすいホームページの作成に、会員の皆様のご意見・アイデアを募集中です。下記アドレスまでメールでお願いいたします。

- ご意見は info@asakura.in
- ホームページアドレス <http://www.asakura.in>
- 検索サイトから「朝倉介護」で検索すると簡単にアクセスできます。



第4回スタッフセミナー開催のご案内

テーマ 「注意すべき感染症とその対策」

本年度の事業計画に基づき、スタッフセミナーを下記の通り開催いたします。皆様のご参加をお願い申し上げます。なお、受講申込書等詳細については後日配布いたします。

- 1 日 時 平成19年11月 9日 (金) 時間:18:00受付 18:30開始
- 2 場 所 朝倉市文化会館中ホール(旧ピーポート甘木)
- 3 講師名 朝倉保険福祉環境事務所 坂本 龍彦 医師
- 4 テーマ 「注意すべき感染症とその対策」
- 5 募集人員 350名
- 6 その他 朝倉介護保険事業者協議会より、「研修受講証明書」を発行いたします。

介護スタッフリレーコラム

「ケアマネの独り言」

たちあらいケアプランサービス 介護支援専門員 中原周司

最近業界の嫌なニュースが多いですね。入浴時の転落・入所者の腸から金属製のスプーン・入所者の胃袋からティッシュ手袋・不正請求・事業所取り消し等々、氷山の一角であって欲しいですが、そうでもなさそうな。

いろんな仕事をしていく中で、「経験年数何年」って、仕事の現場では良く使われる言葉ですが、経験年数は介護の仕事をした事の有る期間をさしていますよね、しかし何でも経験しているわけではないので、時には経験年数の浅い人からも学ぶ事は多いですね。仕事も経験を重ねて来ると、色々と仕事のやり方について尋ねられたりしますので、極力対応していますが、仕事の内容が実際に教える事が出来る事なのでやって見せようとする、「じゃお願いします」と言って別の仕事に行ってしまう新卒者… あなたは仕事を進めていく上で、私に仕事を負担させたかったのですか？それとも仕事を教わりたいのですか？自分自身もまだまだ勉強不足は否めませんが、高齢者の方には、色々な方がいますし、介護する側もいろんな意見が出て、利用者にかかわる方全てが同じ方向性をもって利用者を支えましょう。

コムスン在宅系の譲渡先決まる

福岡県は麻生メディカルサービスへ。

9月4日、訪問介護最大手コムスンの在宅系業務譲渡先が決定しました。ロッキード事件の検事として名を馳せた堀田力氏が委員長を務める第三者委員会は、当初コムスンの様な巨大な企業よりも、地元に着目した企業・非営利団体への譲渡を模索しましたが、結果的には東京に本社を置く、株式会社ジャパンケアシステムが13都道府県、セントケア・ホールディングス株式会社が12県、先に居住系の譲渡先となったニチイ学館が3府県といった、準大手がその多くを独占。地元の有限会社等はわずかに3県で、非営利団体は社会福祉法人が2県、NPO法人が1県のみでした。厚生労働省は思惑通り、肥大しすぎたコムスンの解体には成功した形ですが、新たな巨大訪問介護企業を誕生させる事になったのはなんと皮肉な結果と言えます。福岡県の譲渡先となったのは飯塚市に本拠を置く、麻生メディカルサービス株式会社。現在、在宅系では訪問介護事業と居宅介護支援事業を飯塚市と北九州市で展開中。麻生グループは創業130年の九州を代表する大企業で、福岡県内全事業所の買収額は3億円の予定。

編集後記

最高記録を更新した今年の猛暑のおかげで、光熱費が前年よりびっくりするくらいアップ……かと思えば急に涼くなって、鼻風邪をひく始末。何とも恨めしい夏となりました。みなさんの今年の夏はいかがだったでしょうか。そんなこんなで8月発行の予定が、またもや1ヶ月

遅れとなってしまいました。発刊遅延は地球温暖化の影響という事で平にご容赦を……

(部長)